

酸化エチレン処理技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

「VOC処理技術WG」において、VOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）と併せて検討を行っている。

(酸化エチレン処理技術関係)

16年 5月19日	平成16年度第1回WG開催
6月 9日	実証試験要領（第2版）の公表
6月 9日～6月23日	実証機関の募集
6月30日	平成16年度第2回WG開催
7月12日	実証機関選定の公表
8月 6日～8月25日	実証機関において実証対象技術の募集
9月28日	実証対象技術選定の公表
17年 3月 8日	平成16年度第6回WG開催（第3回～第5回についてはVOC処理技術分野について検討）

WGにおける検討結果を踏まえ、実証機関において実証試験結果報告書の修正作業中

(WG検討員名簿は資料1-1-2参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：東京都

中核となる地方環境研究所名：東京都環境科学研究所

実証対象技術：EOG（酸化エチレンガス）除害装置 EJ-250L 型、
酸化エチレン処理装置 PurEo（2技術）

実証試験期間：平成16年10月25日（月）～平成16年11月9日（火）

2. 今後の予定

○ 平成17年3月末までに、実証試験結果報告書が取りまとめられる予定。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC 処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 岩崎 好陽 | 東京都環境科学研究所 参事研究員 |
| 小渕 存 | (独)産業技術総合研究所環境管理研究部門 浄化触媒
研究グループ長 |
| 加藤征太郎 | 中央大学理工学部 講師 |
| 坂本 和彦 | 埼玉大学大学院理工学研究科 教授 |
| 志賀 孝作 | 東京都鍍金工業組合 環境科学研究所 所長 |
| 土井 潤一 | 日本産業洗浄協議会 理事 |
| 中杉 修身 | 横浜国立大学共同研究推進センター 客員教授 |
| 山川 洋平 | 武蔵野赤十字病院 事務部長 (元 東京都衛生局
薬務部長) |

**小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の
進捗状況及び今後の予定について**

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

16年	4月19日	第1回WG開催
	4月28日	実証試験要領の公表
	4月28日～5月20日	実証機関の募集
	6月1日	第2回WG開催
	6月8日	実証機関選定の公表
	6月24日～8月6日	各実証機関において実証対象技術の募集
	8月16日～9月22日	各実証機関において実証対象技術の選定の公表

各実証機関において実証試験結果報告書の作成作業中

(WG検討員名簿は資料1-2-2参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：福島県

中核となる地方環境研究所名：福島県環境センター
 実証対象技術：微生物共生材を使用した有機性排水の処理（1技術）
 実証試験期間：平成16年10月25日（月）～平成17年2月25日（金）

実証機関：埼玉県

中核となる地方環境研究所名：埼玉県環境科学国際センター
 実証対象技術：担体流動槽式食堂排水処理装置及び
 傾斜土槽法による厨房排水の高度処理装置（2技術）
 実証試験期間：平成16年8月25日（水）～平成17年3月3日（金）

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

実証対象技術：微生物製剤添加型ハイブリッド生物処理法及び
揺動床式生物処理法（2技術）

実証試験期間：平成16年9月6日（月）～平成17年2月25日（金）

実証機関：広島県

中核となる地方環境研究所名：広島県保健環境センター

実証対象技術：粉末凝集剤を用いた加圧浮上法、浮上油自動回収システム及び
振動フィルター併用凝集加圧浮上法（3技術）

実証試験期間：平成16年9月8日（水）～平成17年2月12日（金）

実証機関：香川県

中核となる地方環境研究所名：香川県環境保健研究センター

実証対象技術：液中膜を利用した活性汚泥方式の排水処理施設及び回転円板の
微生物膜を利用した接触酸化方式の排水処理施設（2技術）

実証試験期間：平成16年9月13日（月）～平成17年2月28日（月）

2. 今後の予定

- 平成17年3月31日（木）に、実証試験結果報告書及び今後の方針を検討する第3回WGを開催。

平成 16 年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 座長 藤田正憲 大阪大学大学院工学研究科 教授
- 岡田光正 広島大学大学院工学研究科長 教授
- 中井尚 (社)日本フードサービス協会 業務部長
- 名取眞 (社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問
- 廣田静志 大阪府環境情報センター 企画総務室 環境技術支援課長

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催状況等

16年	7月28日	平成16年度第1回WG開催(東京)
	8月31日	平成16年度第2回WG開催(静岡県御殿場市)
	9月29日	平成16年度第3回WG開催(長野県上高地)
	10月21日	平成16年度第4回WG開催(栃木県日光市)
17年	2月 3日	平成16年度第5回WG開催(東京) ・実証試験結果報告(富山県、山のECHO) ・手数料項目の検討
	2月25日	平成16年度第6回WG開催(東京) ・実証試験結果報告(神奈川県) ・実証試験中間報告(長野県、静岡県、富山県) ・今後の方針についての検討

(WG検討員名簿は資料1-3-2参照)

(2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

- ① 長野県
 - 実証対象技術：生物(好気性)・土壌処理方式
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。
- ② 静岡県
 - 実証対象技術：生物処理方式(かき殻を利用した浄化循環式トイレ)
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。
- ③ 神奈川県
 - 実証対象技術：土壌処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
- ④ NPO 法人 山のECHO
 - 実証対象技術：物理化学処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
- ⑤ 富山県
 - 実証対象技術：土壌処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
 - 実証対象技術：コンポスト処理方式
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。

2. 今後の予定

- ・実証試験結果報告書の承認、公表。
- ・概要版パンフレットの作成、公表。
- ・実証試験の効率化に向けた小委員会を立ち上げ、検討を行う予定。

3. その他

神奈川県の実証試験結果について、装置の配管設備に漏水があり、処理水の水質が試験期間中安定せず、装置の性能を実証するに至っていない状況であった。山岳トイレ処理技術WGとしては、あと数か月間、実証試験継続の必要性があるとの判断に至った。

これにより、山岳トイレ技術分野としては、当初から継続を予定している長野県、静岡県及び富山県に加え、神奈川県についても継続を希望するものである。

※ 申請者側の不備であるため、本来、申請者負担により実証試験を行うところである。しかしながら、平成16年度の公募の際には、手数料を徴収することについて申請者の了承を得ているわけではないため、今回限りの特例措置として、国負担体制での継続を認めるもの。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 三井造船(株) 環境・プラント事業本部長付
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所主任研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 NPO環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)

**<化学物質に関する簡易モニタリング技術分野>
の進捗状況及び今後の予定について**

1. 平成16年度の進捗状況

(1) 実証試験要領の策定

16年 5月24日	実証試験要領案のパブリックコメント募集
～ 6月 4日	(意見数7件)
16年 8月30日	第1回ワーキンググループ会合の開催 (実証試験要領の検討・策定)
16年 8月31日	実証試験要領の公表

(2) 実証機関の選定

16年 8月31日	実証機関の公募
～ 9月13日	(3自治体)
16年 9月29日	第2回ワーキンググループ会合の開催 (実証機関の検討・選定)
16年 9月30日	実証機関選定結果の公表 (愛知県、兵庫県、山口県)

(3) 実証対象技術の選定

16年10月25日	実証対象技術の公募
～11月 8日	(8企業22物質32キット)
16年11月29日	第1回技術実証委員会の開催 (実証対象技術の検討・選定)
16年12月 7日	実証対象技術選定結果の公表 (3企業8物質8キット)

(4) 実証試験の進捗状況

各実証機関において、実証試験を実施中

(17年1月11日～12日に、第3回ワーキンググループ会合及び第2回技術実証委員会を合同開催し、実証試験の進捗状況を確認するとともに、検討員等による実証機関(山口県)への施設視察・指導等を実施)

2. 今後の予定

～17年3月	実証試験の実施及びとりまとめ
17年3月14日	第3回技術実証委員会の開催 (実証試験結果報告書案の検討等)

○第3回技術実証委員会には、ワーキンググループ検討員もオブザーバー参加して頂き、必要に応じて参考意見を求める予定

○第3回技術実証委員会を踏まえ、実証試験結果報告書(最終版)を策定し公表

平成 16 年度環境技術実証モデル事業検討会
化学物質簡易モニタリング技術ワーキンググループ会合
検討員名簿

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部	教授
門上希和夫	北九州市環境科学研究所	アクア研究センター 課長
鑪迫 典久	独立行政法人国立環境研究所	主任研究員
中澤 裕之	星薬科大学薬品分析化学教室	教授
西村 哲治	国立医薬品食品衛生研究所	室長
福嶋 実	大阪市立環境科学研究所	研究副主幹

ヒートアイランド対策技術分野（空冷室外機から発生する顕熱抑制技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

16年 3月24日	実証試験要領の公表
3月24日～4月21日	実証機関の募集
5月12日	平成16年度第1回WG開催
5月18日	実証機関選定の公表
6月 1日～6月24日	実証機関において実証対象技術の募集
7月13日	実証対象技術選定の公表
17年 2月16日	平成16年度第2回WG開催

WGにおける検討結果を踏まえ、実証機関において実証試験結果報告書の修正作業中

(WG検討員名簿は資料1-5-2参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

実証対象技術数：顕熱抑制装置（ドレン水活用方式）、顕熱抑制装置（噴霧散水冷却方式）、水噴霧による顕熱抑制技術、間接散水冷却装置（4技術）

実証試験期間：平成16年9月16日（木）～平成16年11月12日（金）

2. 今後の予定

- 平成17年3月末までに、実証試験結果報告書が取りまとめられる予定。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

足永 靖信 独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員

木内 俊明 国土舘大学工学部 教授

佐土原 聡 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

下田 吉之 大阪大学大学院工学系研究科 助教授

内藤 昇 大阪府環境農林水産部循環型社会推進室 環境管理課長

森川 泰成 大成建設株式会社建築技術研究所

ニューフロンティア技術開発室 室長

VOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

「VOC処理技術WG」において、酸化エチレン処理技術分野と併せて検討を行っている。

(ジクロロメタン等処理技術関係)

16年 6月30日	平成16年度第2回WG開催
8月 3日	平成16年度第3回WG開催
8月18日～9月 1日	実証試験要領についてパブリックコメントの実施
9月22日	平成16年度第4回WG開催
10月 8日	実証試験要領の公表
10月 8日～10月22日	実証機関の募集
10月28日	平成16年度第5回WG開催
11月 1日	実証機関選定の公表
12月 3日～12月24日	実証機関において実証対象技術の募集
17年 2月 1日	実証対象技術選定の公表
3月 8日	平成16年度第6回WG開催

実証機関において実証試験計画を策定し、実証試験を実施中

(WG検討員名簿は資料 1-1-2 参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：東京都

中核となる地方環境研究所名：東京都環境科学研究所

実証対象技術：圧縮深凝縮方式溶剤ガス回収装置 S-150WACW、
有機塩素系ガス回収装置（2技術）

実証試験期間：2/24～3/15（予定）

2. 今後の予定

○ 平成17年3月末までに、実証試験結果報告書が取りまとめられる予定。

非金属元素排水処理技術分野（ほう素等排水処理技術）
の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成17年1月20日 平成16年度第1回WG開催
2月9日～3月2日 実証試験要領についてパブリックコメントの実施

(WG検討員名簿は資料1-7-2参照)

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

パブリックコメントの結果を踏まえて第3次案を作成し、第2回WGの議論を経て策定する予定。

(3) 実証機関選定

平成17年度早々に選定予定。

2. 今後の予定

- 平成17年3月16日 第2回WG開催予定。
- 第2回WGにおいて実証試験要領の策定後、実証機関の募集を開始予定。
- 実証機関における実証対象技術の選定、実証試験計画の策定及び実証試験は平成17年度に実施予定。

湖沼等水質浄化技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

平成16年8月6日に行われた平成16年度第2回環境技術実証モデル事業検討会において「湖沼等水質浄化技術分野」を平成17年度の実証試験の対象技術分野として追加することとなったところ。

(1) 実証試験要領の策定

平成17年 2月 8日 第1回ワーキンググループ会合の開催
(実証試験要領の検討)

平成17年 2月16日 実証試験要領案のパブリックコメント募集
～ 3月 2日 (意見数6件)

平成17年 2月28日 第2回ワーキンググループ会合の開催
(実証試験要領の検討)

2. 今後の予定

- 平成17年 3月22日 第3回ワーキンググループ会合開催予定
(実証試験要領の検討・策定)
- 実証試験要領の策定後、実証機関の募集を開始予定(3月下旬頃)
- 平成17年 5月上旬 平成17年度第1回ワーキンググループ会合開催予定
(実証機関の選定)
- その後、実証機関において実証対象技術の選定、実証試験計画の策定及び実証試験の実施

平成 16 年度環境技術実証モデル事業検討会
湖沼等水質浄化技術ワーキンググループ 検討員名簿

- | | |
|-------|-----------------------|
| 岡田 光正 | 広島大学工学研究科長・工学部長 |
| 島谷 幸宏 | 九州大学大学院工学研究院環境都市部門 教授 |
| 田中 仁志 | 埼玉県環境科学国際センター水環境分野 主任 |
| 福島 武彦 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授 |
| 水口 定臣 | 愛媛県環境局環境政策課 水環境係長 |

平成 16 年度環境技術実証モデル事業検討会
非金属元素排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

小坂 幸夫 東京都立産業技術研究所 製品開発部
資源環境科学グループ長

滝沢 英夫 (財) 中央温泉研究所 第一部 研究員

名取 眞 (社) 日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問

藤田 正憲 大阪大学大学院工学研究科 教授

宮崎 章 (独) 産業技術総合研究所つくばセンター
つくばセンター次長